

第4回 水中考古学セミナー

研究事例とその魅力



第1部 講演 日本の水中考古学: ケーススタディ

- 日本における水中文化遺産と水中考古学の現状 (アジア水中考古学研究所: 林原利明)
- 水中ロボットを利用した葛籠尾崎湖底遺跡の調査の現状と課題 (立命館大学: 矢野健一)
- 元寇遺跡の研究および船体構造哲学 (テキサスA&M大学・博士後期課程: Randall Sasaki)
- 瀬戸内海の海洋文化景観 (南カリフォルニア大学・博士後期課程: Michelle Damian)
- 四爪鉄錨の基礎的研究 (金沢大学・博士前期課程: 松井広信)
- 勝浦ハーマン号海底遺跡の調査について (日本水中考古学調査会: 井上たかひこ)

第2部 討論 “水中考古学の魅力”

ディスカッション 桜美林大学: Bruce Batten

多くのみなさまに水中考古学を知っていただきたく、
どなたでも無料でご参加できます

〔席に限りがありますので、事前参加申し込みをお願いいたします〕

お問い合わせ shipwreckarchaeology@gmail.com 090-5288-2255

日時: 2012年10月6日(土) 13:15~17:15 [12:45 開場]

場所: 桜美林大学四谷キャンパス 地下ホール

主催: 桜美林大学大学院国際学研究科

ウェブサイト <http://www.nauticalarchaeologyjp.com>

Facebook <http://www.facebook.com/shipwreckarchaeology.japan>

Twitter https://twitter.com/nautarch_japan

